

紅葉が見事な季節になってきました。

田舎のあちこちでお祭りも開催され、冬の訪れ前のにぎやかな様子に、また一年が経ったのかと月日の流が早いと感じさせられます。

都会とは気温の差が5度くらいは違うかと思われませんが、朝夕の冷たい風に体が縮こまります。少しは散策でもして体を温めるのにちょうどいいかもしれません。

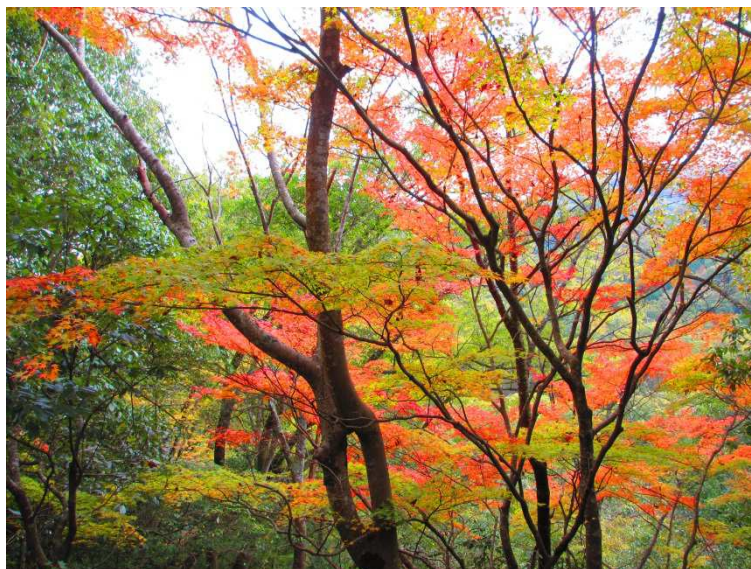
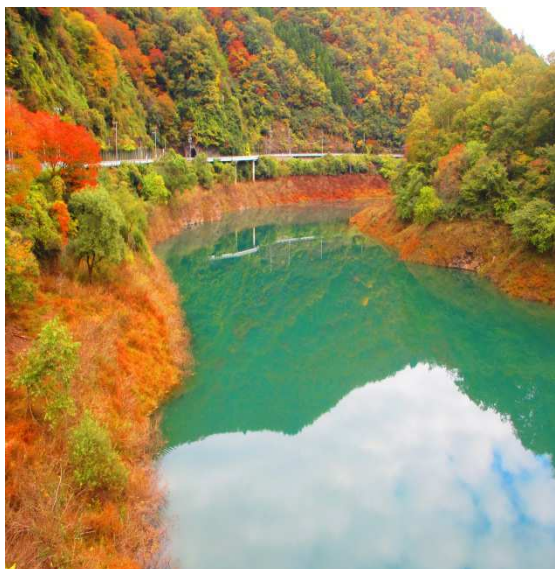
## ■長瀬地区



先日開催された地元のお祭りは、お母さん達の出す美味しい食品や野菜たちは大好評でした。

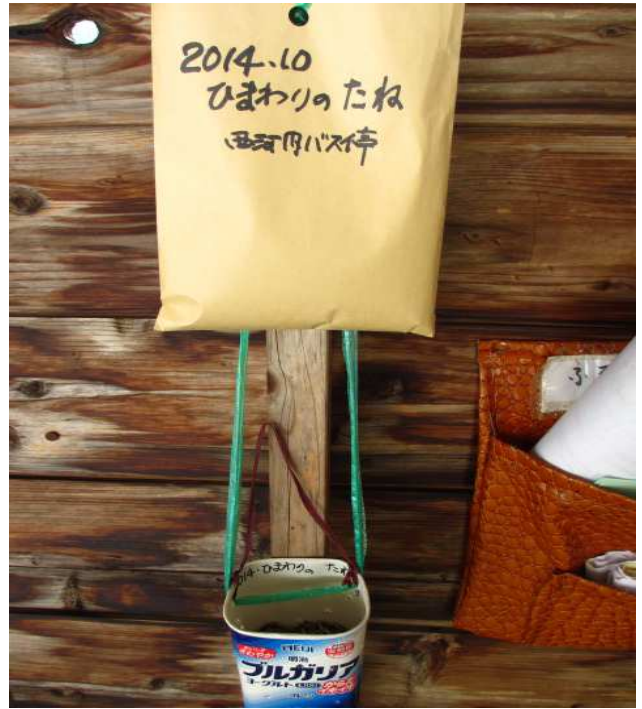
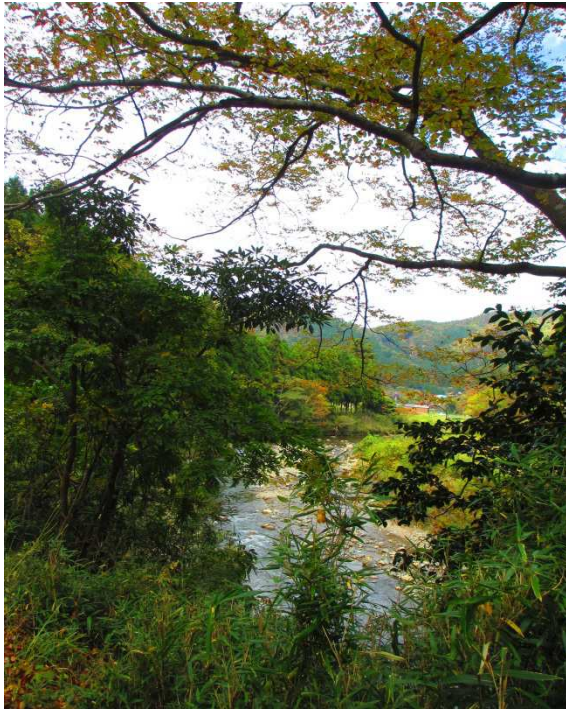
かやくごはん、鯖寿司、おもちなどはいつも大好評です。美味しくて安心なお野菜たちは消毒液をかけていないなどの為に白菜やキャベツにつくヨトウムシの幼虫を取り除くのが大変だそうです。自分達でも葉っぱについた虫が気持ち悪いのに、お客様の所にうっかり見落として引っ付いていたら申し訳ないなあとおっしゃっていたのが印象的でした。

## ■大野地区



11月15、16日は毎年行われるもみじ祭りがありました。ダム周りにはカラフルに色とりどりに彩られ、壮観な景色が堪能できます。丁度写真で撮影をした時、貯水された水の色がエメラルドグリーンの色をしていてとても鮮やかで吸い込まれそうでした。自然の色は色の表現が再現できない位に綺麗なモノですね。

## ■西河内地区



この辺りはまだ撮影時、紅葉が少しだけでした。でも寒さはひたひたと押し寄せてきており、日の翳りの早さを感じさせます。前回のひまわりの種はこのようにバス停の所に集められていました。

毎年誰かがこの種を引き継いで大事に育てていらっしゃるのでしょうか？  
バス停もすっかり村の人達のコミュニケーションの場となっているのですね。

## ■高岡地区



ふっくら美味しそうな小豆が畑の横道で干されていました。この辺りは黒豆も凄く有名ですが、小豆も美味しい事で有名です。この粒を一つ一つ選り分けていく作業は手間のかかる事だと思われま

す。美味しくてあっという間に食べてしまうぜんざいも、こんな風に豆自体が作られているのだと思えばありがたい味わいですね。新米が出来て精米された後の糠はこんな風に燃して土に還すのですね。ミネラルとして良い肥料となるのでしょうか。先人たちより受け継がれた農業の姿には、無駄の無い、循環された知恵がいっぱいです。

ご参加・ご意見・お問い合わせは下記まで ふるさと野菜のおすす分け事務局

〒621-0242 京都府亀岡宮前町神前上長野2 (有)篠ファーム内 **購入参加者 11月20日 現在99名**

TEL0771-26-0811 FAX0771-26-0822 e-mail [info@shinofarm.jp](mailto:info@shinofarm.jp)

ふるさと野菜のおすす分け通信は右記のホームページでもご覧いただけます。 <http://www.shinofarm.jp/furusato.htm>